

学位論文の作成について

- *原則としてワープロ（ワープロソフト）を用いて作成すること。
 - *綴じ込み形式のファイルを用いること。（穴あけ形式は不可）
 - *表紙と背表紙にそれぞれ論文題目、学籍番号（課程外博士の場合は不要）、氏名を記載し、はがれないように貼付すること。
 - *用紙は、A4判・白色・無地のものを使用すること。
 - *書式は、A4縦・横書き・上下左右余白各 2.5cm・1行 25～40字・1頁 20～30行とすること。
 - *表紙・目次を除いた全頁に必ず通し番号をつけること。
（万一、綴じ込み形式のファイルから外れてしまった場合、元に戻せなくなるため。）
 - *字間・行間・印字ポイント（大きさ）に注意して、読みやすい書式に設定すること。
 - *化学式、省略形以外の英数字は半角にする。（例：H₂O，DNA，sciences 等）
 - *句読点・括弧の位置に注意して必ず禁則処理をすること。また、単位・数値が複数行にまたがらないようにすること。
 - *化学式の数字は下ツキ（この指定ができない場合は、ポイント数変更等による類似の形式）とし、不可能なら手書きにすること。
- ☆英文論文題目については、最初の単語の先頭の文字のみを大文字とし、後の語は固有名詞を除き、小文字で表記すること。

博士論文作成上の留意事項

(原則として薬学雑誌、Chem.Pharm.Bull、あるいはBiol.Pharm.Bull.の投稿規定に準ずる)

1) 論文の構成

論文は次のような項目からなる。タイトルと氏名、目次、論文リスト、略号リスト、本文、謝辞、実験の部、REFERENCES

未発表データ(unpublished observations)は、【緒言】あるいは【考察】に挿入することは可能だが、【結果】においては用いない。未掲載データ(data not shown)は【結果】において挿入可能であるが、必要最小限にとどめる。

2) 論文リスト

主論文については論文リスト(list of publications)を作成し、博士論文中に明記する。

著者名、タイトル、雑誌名、巻号、最初と最終ページ、発表年を明記し、各論文がどの章に用いられているかについても明記する。

3) 略号リスト

本文の前頁に略語と簡単な説明を入れる。

例えば、

本論文では、以下の略号を用いた。

Atr	atropine、ムスカリン受容体拮抗薬
HGF	hepatocyte growth factor、肝細胞増殖因子
L-NOARG	N ^G -nitro-L-arginine、NO合成酵素阻害薬
Mor	morphine、 μ -agonistあるいは μ 受容体作動薬
Nal	naloxone、 μ -antagonistあるいは μ 受容体拮抗薬
NMR	nuclear magnetic resonance(as ¹³ C-NMR, ¹ H-NMR)、核磁気共鳴
NOS	nitric oxide synthase、NO合成酵素
TNF α	tumor necrosis factor α 、腫瘍壊死因子 α

(これらをアルファベット順に記す。)

4) 引用文献

出題順(引用順)に通し番号を付け、文中右肩に右片カッコ付きのアラビア数字で示し、番号順に並べてREFERENCESとして論文末尾に列記する。雑誌名の略号はChem.Abstr.あるいはMEDLINEに準ずる。タイトルは原則として記載する。

例えば、

1) Fruchgott,R.F.,Zawadzki,J.V., The obligatory role of endothelial cells in the relaxation of arterial smooth muscle by acetylcholine,Nature,288,373-376(1980).

5) 動物実験

【方法】において、動物の取扱いは「星薬科大学動物実験指針」あるいはその他の「実験指針」に基づいて行ったことを明記する。

6) 構造式

生物系の論文において、比較的新しい薬物を使用している場合、構造式を挿入する。

☆また、博士論文は最終的にPDFでの提出となりますので、別紙のことにも注意してください。

◎博士論文 PDF 化の際の注意

博士論文は PDF で提出していただきますが、PDF 化にあたっては、仕様に注意してください。

PDF の仕様

PDF/A の規格で作成・保存するようにしてください。

PDF/A は、長期保存に特化して策定されたフォーマットであり、埋め込みフォントの表示となるため、閲覧先の環境に依存せずに、同じフォントで閲覧可能となります。

PDF 作成の方法

PDF 化にはアドビアクロバットを使用する方法など、様々な方法がありますが、多くの方が Microsoft Word を使用していると思いますので、以下にその方法を示しておきます。

①「名前をつけて保存」の際に、「ファイルの種類」で「PDF」を選択し、

オプション ボタンを押下する。

②「オプション」画面が表示されるので、「PDF オプション」の「ISO19005-1 に準拠 (PDF/A)」にチェックをつけて保存する。

※上記は Word2010 の例ですが、バージョンが違っても、方法にそれほど大きな違いはありません。

◎タイトル（表紙）の書き方

博士論文はデータ（PDF）として公開されますので、タイトル（表紙）の書き方がまちまちですと、統一感がとれなくなってしまうます。

そこで、以下のように統一させていただきます。作成例や注意も書いてありますので、よろしくご協力をお願いいたします。

学位論文（博士）

タイトル（1行目）

タイトル（2行目）

タイトル（3行目）

20××年3月

星薬科大学大学院 薬学研究科

〇〇専攻

△△△△学

氏 名

学位論文（博士）

タイトルはこのようにしてください。(18pt)

〇〇〇〇における△△△△に
関する研究

論文題目は、日本語の場合は日本語で、英語の場合は英語で。
数行に渡っても可です。

学位授与年月を西暦で記載してください。
(月は3月か9月になります。)

2016年3月

星薬科大学大学院 薬学研究科
〇〇専攻
△△△△学

☆課程博士の場合は、専攻と研究分野を記載してください。
☆課程外博士の場合は、研究分野(△△△△学)は不要です。
専攻は、「博士(薬学)」の学位を申請する方は薬学専攻、「博士(薬科学)」の学位を専攻する方は総合薬科学専攻としてください。

星田 花子

氏と名の間は全角スペースとしてください。

論文目録の書き方

留意点

1. 主論文と参考論文に分けて記載すること。
2. 論文タイトル：原報通りに記載すること。
3. 著者名：原報通りに共著者全員を記載すること。
4. 発表雑誌名，巻数，ページ数（年号）を記載すること。
（下線） （下波線）

〈記載例〉

論文目録

主論文

- 1) Highly efficient access to 4-alkylideneisochroman-3-ones and 1-carbomethoxy-3,4-dihydronaphthalenes.: T.Hoshi, Y.Hayase, Y.shoji, and L.J.Feinberg, J.Am.Chem.Soc., 110, 998 (1998).
- 2) プロスタグランジン合成阻害薬の薬物送達機構に関する研究. II.: 星 太郎, 下山 敦, 鈴木 広一, 薬学雑誌, 48, 64 (1989).

•

•

•

参考論文

- 1) •
•
•
- 2) •
•
•

履歴書の書き方

-
- ☆ 年は和暦・西暦のいずれで記載しても可。
 - ☆ 本学の大学院研修生・大学院専攻生（聴講生）は、研究歴にはカウントされない。（記入する場合は、学歴欄に記入すること。）
-

本 籍 ○○県
（注）都道府県名（外国籍の場合は国名）のみで良い。

< 中略 >

学 歴（注）高等学校卒業から記載すること。

年	月	星	高等学校卒業
年	月	星	大学 薬学部 薬学科入学
年	月		同 学科 卒業
年	月	星	大学大学院 薬学研究科 修士課程入学
年	月		同 課程 修了

職 歴

年	月	日	星	株式会社 中央研究所就職
年	月	日		同 社 退職
年	月	日	星	大学附属病院 薬剤部就職
				現在に至る

（注）勤務期間に社名変更になった場合、旧社名はカッコ書きで現社名の後に記入すること。

研究歴

年	月	日	星	株式会社 中央研究所勤務
---	---	---	---	--------------

年 月 日

（注）研究期間証明書に記載の期間と一致させること。研究内容の記載は不要。

年 月 日

星薬科大学 **研究室 研究生在籍

年 月 日

「論文内容の要旨」作成例－2

「論文内容の要旨」枠内の記入例

学位論文の言語が日本語

N-サクシニルキトサンの水溶性高分子担体としての可能性

Potentialities of *N*-succinyl-chitosan as a drug carrier for
water-soluble macromolecular prodrugs

星 花子 (Hoshi, Hanako)

学位論文の言語が英語

**Potentialities of *N*-succinyl-chitosan as a drug carrier for
water-soluble macromolecular prodrugs**

N-サクシニルキトサンの水溶性高分子担体としての可能性

星 花子 (Hoshi, Hanako)

博士論文 紀要掲載要旨の作成について

下記の要領で作成して、プリントアウトしたものと、データ（Microsoft Word 等で作成したものをCD等の媒体に保存したもの）を提出すること。

- ・論文題目（日本語と英語を併記すること）
- ・著者名（日本語と英語表記を併記すること）
英語表記は 姓、名の順とし、姓は大文字とする。〔例：星 花子（HOSHI, Hanako）〕
- ・主査、副査
- ・要旨
日本語で1800字以内（図表がある場合は、本文の文字は9ポイントにして、図表とあわせてヨコ16cm×タテ18cmの枠に納まるように書くこと）
外国人の場合は英語でも可。ヨコ16cm×タテ18cmの枠に9ポイント（single space）で書くこと。

作成例1

花粉症治療を目的としたフルニソリド含有鼻腔用軟膏の開発

Development of flunisolide nasal ointments for allergic rhiniti

星 花子(HOSHI, Hanako)

主査；〇〇〇〇教授

副査；□□□□教授、△△△△教授

花粉症治療を目的とした・・・日本語で1800字以内（図表がある場合は、本文の文字は9ポイントにして、図表とあわせてヨコ16cm×タテ18cmの枠に納まるように書くこと）

作成例2

Implications of glutamatergic system and protein kinase C in the development of morphine reward

Morphine 報酬効果形成機構におけるグルタミン酸神経系および protein kinase C の関与

星野太郎 (HOSHINO, Taro)

主査；〇〇〇〇教授

副査；□□□□教授、△△△△教授

近年、麻薬や覚せい剤に・・・日本語で1800字以内（図表がある場合は、本文の文字は9ポイントにして、図表とあわせてヨコ16cm×タテ18cmの枠に納まるように書くこと）

博士の学位を申請する方へ

博士学位論文の公開について

「学位規則」（文部科学省令）の改正により、平成 25 年度から博士学位論文（以下「論文」という。）の公開方法が変更となりました。それまでは印刷した論文を公開することになっておりましたが、電子データとしてネットワークを通じて公開する方法となります。ネットワークによる公開は学位授与大学の協力を得て行うことになっており、本学では図書館が構築する「星薬科大学学術情報リポジトリ」（以下「リポジトリ」という。）での公開となります。

また、国立国会図書館でも同様の公開となりますが、国立国会図書館への論文（電子データ）の提供は、本学がリポジトリに登録した論文を自動収集することにより行われます。

〔公開手続について〕

リポジトリに論文（電子データ）に登録するにあたっては、審査委員会の審査を受けて最終的に完成した論文を教務部に提出する際に、別紙の「星薬科大学学術情報リポジトリ登録依頼書（博士学位論文）」（以下「登録依頼書」という。）を併せて提出してください。

論文全文は、学位授与後 1 年以内に公開することが義務づけられておりますが、本学および本学図書館において手続ならびに登録準備ができ次第、公開します。

〔公開の例外について〕

やむを得ない事由（以下に例示）により公開ができない場合は、学位を審査した大学の承認を得て、論文全文に代えて著者の作成した要約を公開することとしますので、登録依頼書にその旨を記してください。ただし、やむを得ない事情が解消した場合は、公開が求められます。

また、やむを得ない事由がある場合でも、求めがあれば大学および国立国会図書館が閲覧に供することになります。

やむを得ない事情の例

- ・ 著作権や個人情報に関わる制約がある場合
- ・ 特許の申請に関わる場合
- ・ 出版刊行、雑誌投稿を予定している場合 など

〔著作権について〕

印刷論文でも同様ですが、電子データによる公開では印刷論文に比べ、より多くの方が目にするため特に以下のことに注意してください。

- ・ 共同研究者、共著者がいる場合は、事前に全員の許諾を得てください。
（学位論文への使用に加え、学位論文としてインターネット公開されることについての許諾も必要です。）

〔その他〕

上記に示した論文全文の公開の他、論文の内容の要旨（著者が作成）および論文審査の結果の要旨（審査委員会が作成）についても当該博士の学位を授与した日から 3 月以内と同様の方法で公開することとなっています。公開手続や著作権等については上記と同様です。